

方法

2000 - 20

Method

クレジット

主催：岐阜県美術館, 情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]

助成：公益財団法人花王芸術・科学財団

協力：IAMASタイムベースドメディア・プロジェクト

設営・再制作：山田聡 会場設計補助・什器設計施工：門田健嗣 広報デザイン：岡澤理奈 記録撮影：小濱史雄

企画：西山恒彦（岐阜県美術館）、大久保美紀（IAMAS）

IAMAS ARTIST FILE #09

〈方法主義芸術〉—— 規則・解釈・(反)身体

会 場：岐阜県美術館〔展示室2〕

会 期：2023年10月11日(水)－12月24日(日)

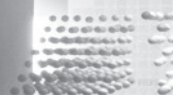
開館時間：10:00～18:00〔入場は17:30まで〕

休 館 日：月曜日〔祝日の場合はその翌平日〕

観 覧 料：一般340円(280円)、大学生220円(160円)、高校生以下は無料

※ () 内は20名以上の団体料金

004



展覧会概要

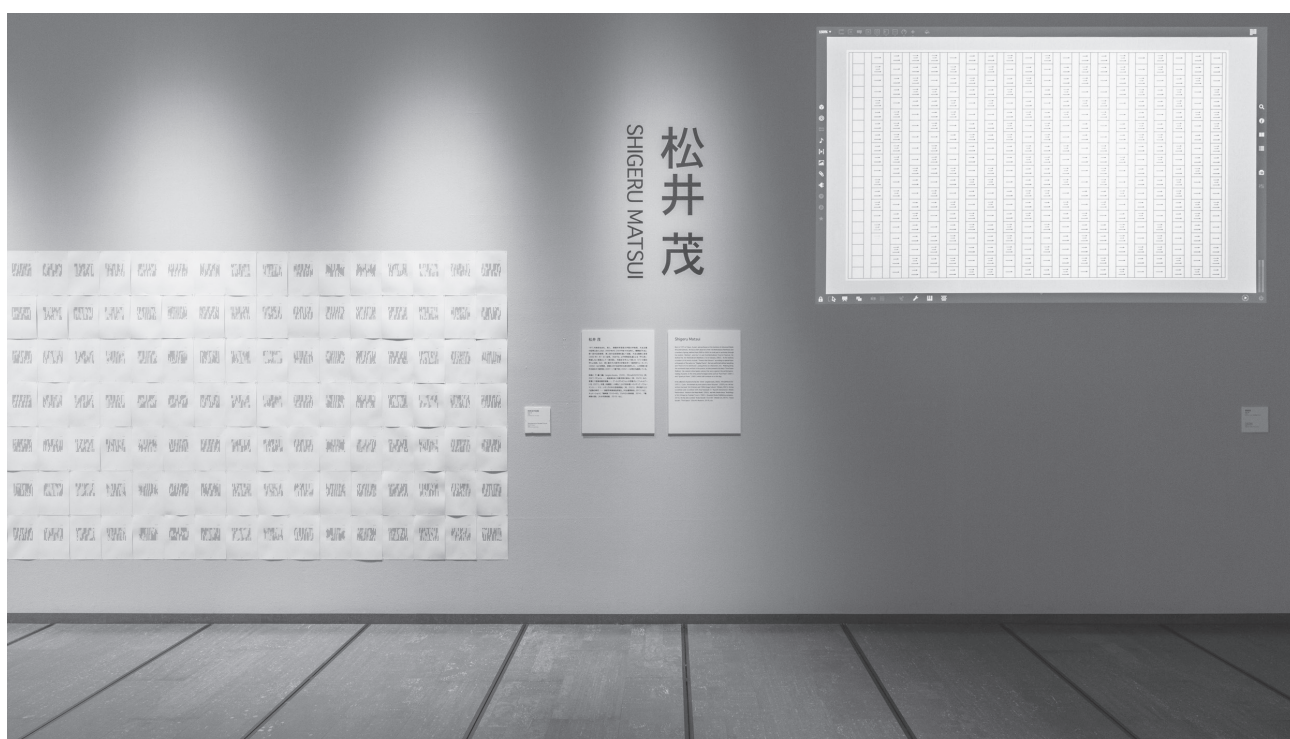
「IAMAS ARTIST FILE #09」は、設立時よりIAMASで教鞭を執ってきた三輪眞弘教授の退任記念展を兼ね、美術家・中ザワヒデキが提唱し、IAMAS教員の三輪眞弘と松井茂がメンバーとして参加した「方法」の軌跡を辿り、その活動を再考する。ゼロ年代初頭の芸術運動「方法」は、同時代芸術を批判し、原理や規則に因る絵画・詩・音楽を発表した。三輪眞弘の「逆シミュレーション音楽」の先駆的作品のいくつかは、芸術運動「方法」を機に生み出された。

1990年代初頭に「バカCG」という日本初のへたうまコンピュータ・グラフィックスで一世を風靡した中ザワヒデキは1997年「純粹芸術家」に転身し、当時の快楽的ポストモダニズムの芸術的状況に対抗する禁欲的で還元主義的な「方法絵画」作品群を発表する。方法主義の提唱者である中ザワは、20世紀中葉のフォーマリズムによる諸芸術分断を批判し、方法への還元に基づく〈総合芸術としてではない諸芸術の連携〉を推し進める。4名の方法主義者たち（中ザワヒデキ、足立智美、松井茂、三輪眞弘）による野心的な芸術運動は、2000年1月1日の「方法主義宣言」（第一宣言）に端を発し、1990年前後のポストモダニズムを背景とする「なんでもあり」の状況に確固たる「アンチ」の立場を唱えて、2004年12月31日に幕を下ろす。

展覧会は「方法」の活動終焉からおおよそ20年が経過した今日の芸術の状況において、その活動の軌跡と意義を振り返る。それは単なる回顧ではない。「方法」の思考を通じて現代を見ることができる。「方法」によって撒かれた芸術表現の萌芽は、現代のわたしたちに何を残したか。あるいは、ポスト・ポストモダンである同時代芸術がなおその快楽的多様性ゆえに袋小路に陥っているのだとすれば、その打開策を暗示することになるだろう。

「われわれ方法主義者は、放縦と怠惰を学芸にもたらした自由と平等を懐疑し、倫理としての論理を復権する。」（「方法主義宣言—方法絵画、方法詩、方法音楽」、2000年1月1日）

（大久保美紀）



出展作品リスト

足立 智美

- 方法音楽 第9番 (2000/2023)
- The Theme of “pig with mic,” 10 variations and 5 enlargements (2001)
- 方法音楽 第8番 その1 (2000)
- 方法音楽 第8番 その2 (2000)
- 方法音楽 第8番 その3 - 改行無し (2000)
- 方法音楽 第8番 その3 - 改行有り (2000)
- 方法音楽 第9番 「線の消尽」その1 - 日本語・英語 (2000)
- 方法音楽 第9番 「線の消尽」その2 - 日本語・英語 (2000)

中ザワヒデキ

- 768個の変曲点のある単一曲線 (1997)
- 1456個の変曲点のある単一曲線 (1998)
- 1842個の変曲点のある単一曲線 (1998)
- 654個の変曲点のある単一曲線 (2001)
- 4760個の変曲点のある単一曲線 (1997)
- 三五目三五路の盤上布石絵画第一番 (1999)
- 三五目三五路の盤上布石絵画第二番 (1997)
- 三五目三五路の盤上布石絵画第三番 (1997)
- 二九字二九行の文字座標型絵画第七番 (2009)
- 二九字二九行の文字座標型絵画第八番 (2009)
- 二九字二九行の文字座標型絵画第九番 (2009)
- 二九字二九行の文字座標型絵画第一番 (1999)
- 二九字二九行の文字座標型絵画第二番 (1999)
- 二三字三九行の文字座標型絵画第三番 (1999)
- 二九字二九行の動的文字座標型絵画第七番 (2009)
- 同一の二枰第一～一〇番 (2004)
- 同一の二枰第一～二〇番 (2004)
- 15個の滑車と6個の重りのあるロープ第一番 (2003)
- 「15個の滑車と6個の重りのあるロープ第一番」シミュレーター (2003)

松井 茂

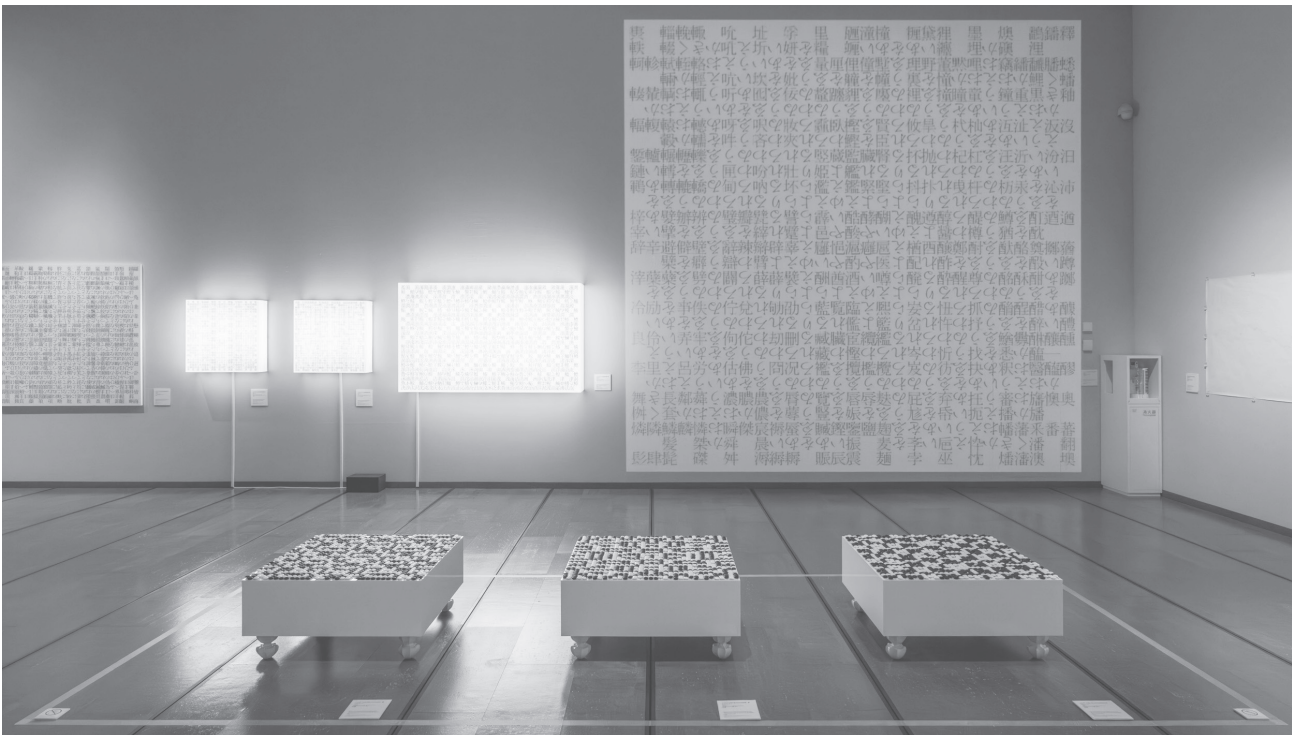
- 純粹詩 (2001-)
- 量子詩 (2002-)
- 同時並列回路 (2006)
- 同時並列回路 (2006/2023)

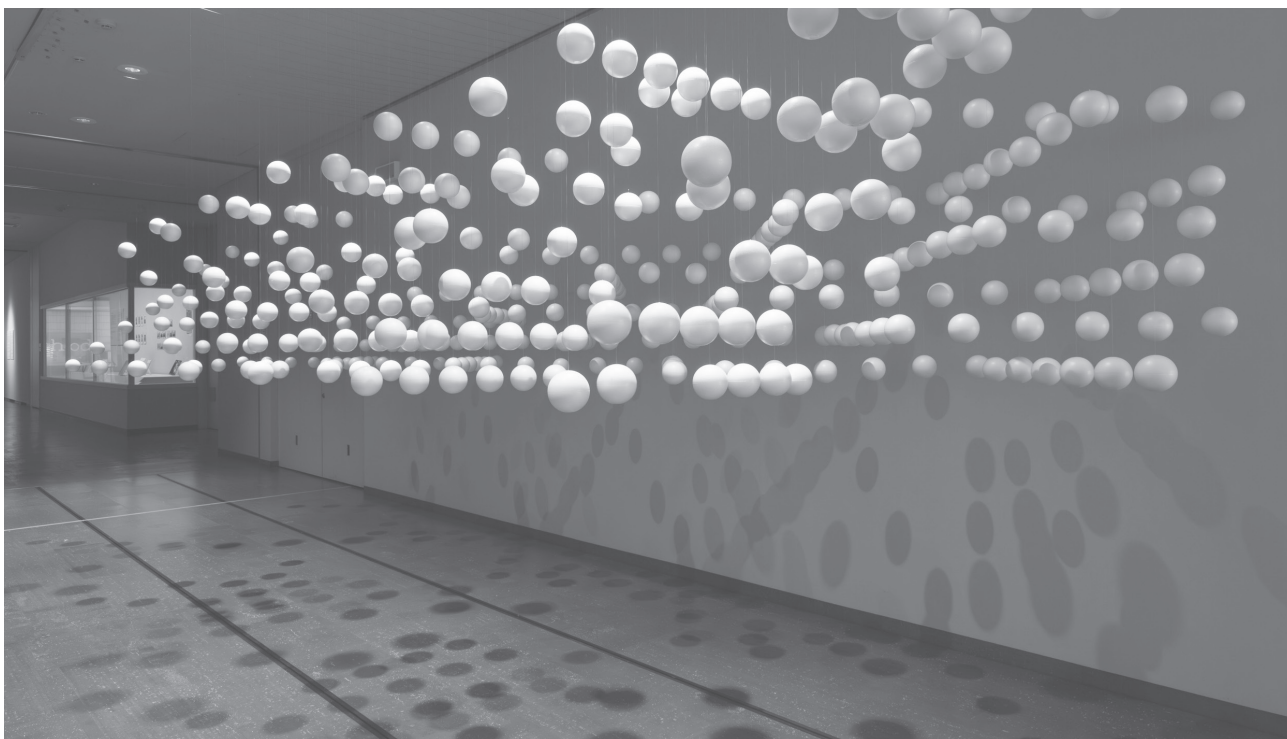
三輪 眞弘

- 逆シミュレーション音楽説明動画 (2007)
- またりさま人形 (2003)
- すべての時間, ハープのための (2001) 初演
- またりさま (2002) 再演
- 村松ギヤ (京風バージョン, 2003) 初演
- 村松ギヤ・エンジンによるボレロ (2003) 日本初演
- 蟬の法, 箏篋のための (2003) 初演
- 369ハルモニアII, 弦楽六重奏のための (2005) 再演
- 369 B氏へのオマージュ, 弦楽のための (2006) 再演
- 59049年カウンター, 2人の詠人, 10人の桁人と音具を奏でる傍観者たちのための
- 逆シミュレーション音楽年表 2002-2023
- 逆シミュレーション音楽上映プログラム
 - またりさま (2002) 第二回方法芸術祭
 - 流星礼拝 (2002) International Sound Art Festival in Mexico City
 - 映像版「極東の架空の島の唄」(2007) 〈東京の夏〉音楽祭2007関連イベント 手順派合同祭
 - 愛の讃歌—ガムランアンサンブルのための (2008) 岐阜おおがきビエンナーレ2008
 - みんなが好きな給食のおまんじゅう—ひとりの傍観者と6人の当番のための— (2015)
岐阜おおがきビエンナーレ2015
 - 鶏たちのための五芒星 (2020) 三輪眞弘祭—清められた夜—

三輪眞弘資料

「方法」関連資料





関連プログラム

「岐阜おおがきビエンナーレ 2023」

日 時：2023年12月7日(木)－12月10日(日)

会 場：情報科学芸術大学院大学（ソフトピアジャパンセンタービル4階）、岐阜県美術館

登壇者：池田拓実、岡田暁生、さかいれいしう、篠原資明、中ザワヒデキ、園羽山園、松井茂、三輪眞弘
安野太郎、吉岡洋（モデレータ：大久保美紀）

ウェブサイト：<https://www.iamas.ac.jp/biennale23/>

「三輪眞弘作品の再演コンサート・トークイベント」

日 時：2023年12月9日（土）14:00～16:00

会 場：岐阜県美術館多目的ホール

出 演：福井麻衣（ハープ）、東野珠実（箏篋）、三輪眞弘（作曲者）、岡田暁生（コメンテータ）

演 目：「すべての時間、ハープのための」、「蟬の法、箏篋のための」

「方法作品の再演」

日 時：2023年12月24日（日）15:00～17:00

会 場：岐阜県美術館多目的ホール

出 演：IAMAS タイムベースドメディア・プロジェクト、中ザワヒデキ、足立智美、三輪眞弘

p.32 上：展示風景。松井茂。左《同時並列回路》(2006)、右《純粹詩》(2001-)、下：三輪眞弘。左から《蟬の法、箏篋のための》(2003) 初演、《369ハルモニアII、弦楽六重奏のための》(2005) 再演、《369 B氏へのオマージュ、弦楽のための》(2006) 再演、《59049年カウンター、2人の詠人、10人の桁人と音具を奏でる傍観者たちのための》。p.33 上：中ザワヒデキ。左《二九字二九行の文字座標型絵画第九番》(2009) 部分、《二九字二九行の文字座標型絵画第一番》(1997)、《二九字二九行の文字座標型絵画第二番》(1997)、《二三字三九行の文字座標型絵画第三番》(1999)、《二九字二九行の動的文字座標型絵画第七番》(2009) 部分。下：展示風景。中ザワヒデキ作品、足立智美作品、三輪眞弘作品。p.34 上：三輪眞弘。左から「逆シミュレーション音楽年表2002-2023」, 「逆シミュレーション音楽上映プログラム」《愛の讃歌—ガムランアンサンブルのための》(2008) 岐阜おおがきビエンナーレ2008)。p.34 下：足立智美。《方法音楽第9番「線の消尽」その1、その2》(2000) 三次元楽譜部分。